

株式会社 一柳



四国中央市

地元コラボレーションによるこんにゃく芋の健康食材の開発・製造・販売事業

1 事業内容

地元特産の“こんにゃく芋”を活用し、こんにゃく製造販売に携わってきた経験やノウハウのほか、地元高校生のアイデアや感性も取り入れながら、「四国中央市」＝「紙のまち」をイメージできる手軽な健康志向の食材を開発し、全国販売に取り組む。

2 事業背景

本県において、四国中央市は、大洲市と並ぶこんにゃく芋の産地として知られている。このこんにゃく芋を活用して、従前から就業体験の場として交流していた地元高校のアイデアや感性を取り入れながら開発した商品を、高校生が参加する「商い甲子園」や産直市等でテスト販売を実施してきた結果、事業化への手ごたえを実感できたことから本格展開することとした。

今回の取り組みに際し、こんにゃくの調達については、安定した品質保証および生産履歴を明確にするため、市やJAなどの協力を得て借り受けた、地元休耕地7反にて自社栽培することとした。



3 事業、技術、商品の特徴

こんにゃくを活用したこんにゃくケーキ、こんにゃくベーグルなどを従来より自社で製造販売しており、このノウハウを活かして、地元高校生とコラボレーションした商品開発に取り組んだ結果、県内産の野菜や果物などと組み合わせた煎餅「紙せん」シリーズを商品開発することができた。



一柳社長

4 助成内容及び効果

自動回転型煎餅焼成機の導入により、一定速度の回転で安定した焼成が可能となり、生産量が大幅に増え、製造コストの削減のほか、労力や生産効率の面においても効果が現れている。

また、新商品の開発により、新しい市場の開拓だけでなく、これまでの販売先にも新商品としての提案ができ、販路に広がりを見せている。

5 今後の展望

当事業での開発商品をベースとして、地元愛媛の地域資源を活かした柑橘類、水産物、新宮茶などを新たなバリエーションとして加えてシリーズ展開し、健康志向の消費者への販路をさらに広げていく。

また、本事業の認知・拡大により、地元でのこんにゃく芋の生産量及び生産者の増加に貢献し、100%自社農場や近隣農家で生産されたものを原料とした商品づくりに地元の高中生等が参画する、地元が一体となった地域の活性化につなげていきたい。

Message From Entrepreneur

「今」が一番大事です。
「今」を見失うことなく、その瞬間、その瞬間を大切に、必死に取り組んでいきます。

企業概要

〔代表者〕 代表取締役 一柳 美枝子
 〔住 所〕 四国中央市中之庄町124
 〔設 立〕 平成18年11月
 〔TEL〕 0896-23-2420
 〔FAX〕 0896-23-6644
 〔URL〕 <http://www.konnyakukoubou.com/>